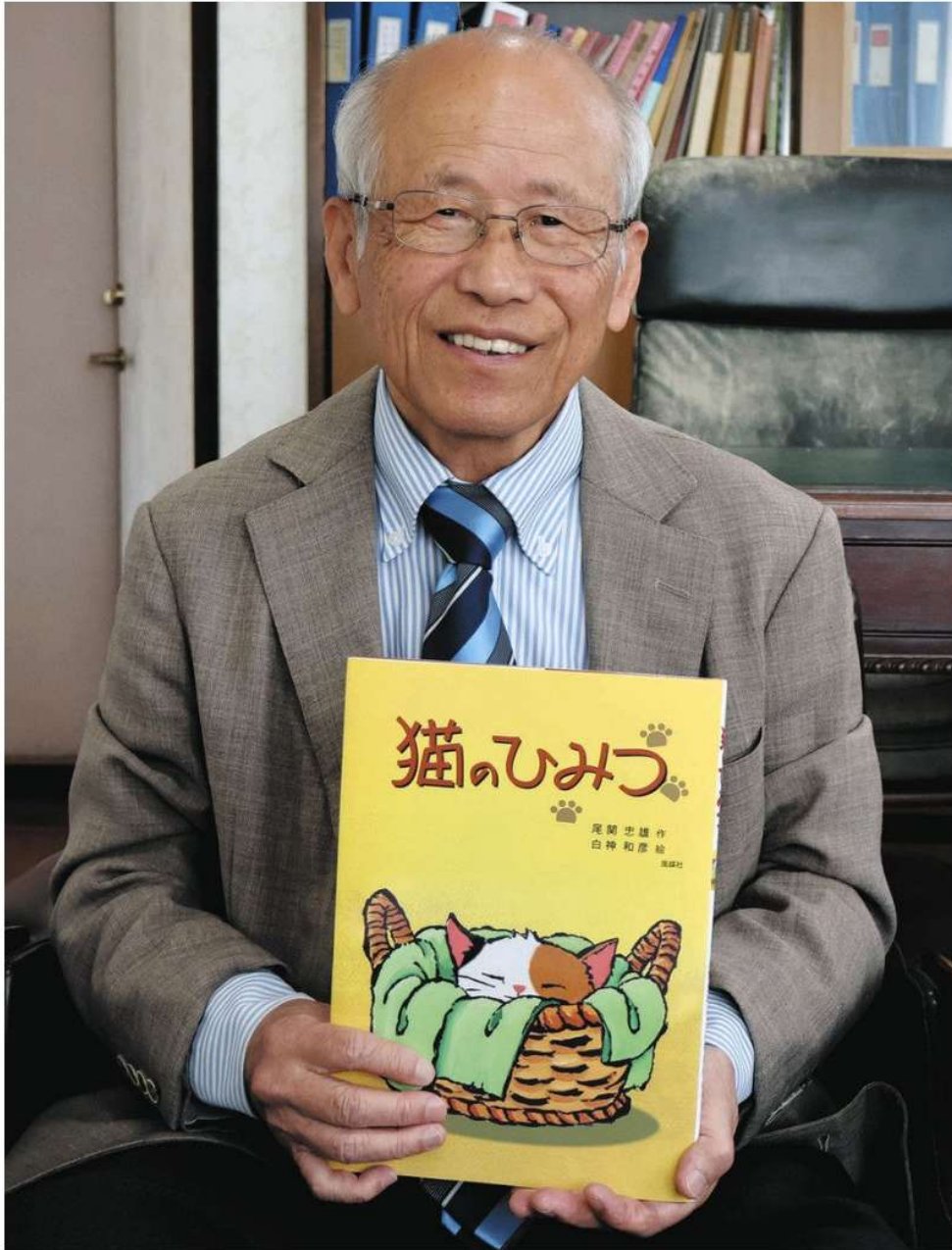


「うふふっ 秘密 ひみつ ヒミツ」 豊田の幼稚園長・尾関さん 読み聞かせ絵本

豊田市美里4にある美里幼稚園の尾関忠雄園長（79）が今春、園の創立50周年を記念して絵本「猫のひみつ」（風媒社）を出版した。園児に読み聞かせたいと長年創作活動を続けており、絵本は今作が3作目となる。



絵本「猫のひみつ」を出版した尾関園長＝豊田市美里4の美里幼稚園で

物語では、主人公の「ぼく」が、ペットの三毛猫のミツと過ごした8年間のエピソードがつづられる。尾関さんが小学生の頃、近所の人から譲ってもらった猫を飼っていた体験に基づいている。

ページを開くたび、「うふふっ 秘密 ひみつ ヒミツ」のフレーズが繰り返される。読み聞かせで使われることを意識し、リズム感を大切にしたいのだという。挿絵は田原市在住の水彩画家で、豊田中日文化センターの講師も務めた白神和彦さんが手がけた。

尾関さんは「親子のふれあいの時間に活用してほしい。生きものに対する愛着が子どもの心に芽生えるきっかけになれば」と願っている。

このたび尾関園長の絵本に関する記事が下記朝日デジタル新聞に掲載されました。



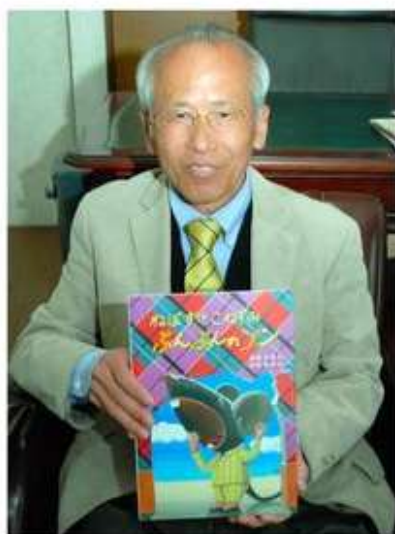
愛知) 34年前の創作童話が絵本に 豊田の美里幼稚園長: 朝日新聞デジタル - Internet Explorer

朝 http://www.asahi.com/articles/ASJ4N53XPJ4NOBJB00M.html

朝日新聞
DIGITAL

愛知) 34年前の創作童話が絵本に 豊田の美里幼稚園長

安田 琢典 2016年4月23日 03時00分



尾関忠雄さんが1982年に創作した童話を基にした絵本「ねぼすけこねずみ ぶんぶんのブン」＝豊田市美里町4丁目



34年前、B4判の用紙に書かれた創作童話が、絵本に生まれ変わった。今年で創立40周年を迎える豊田市の美里幼稚園。園長の尾関忠雄さん（69）は、作家でもある。子どもたちに善悪の判断力を身につけてもらおうと執筆した「ねぼすけこねずみ ぶんぶんのブン」が、23日から県内の書店に並ぶ。

「はやくおきなさい」「イスをボリボリたべはじめました」――。

4歳児のクラスを受け持つ加藤彩夏さん（26）が絵本を朗読すると、子どもたちは真剣に聴き入った。加藤さんは「分かりやすいストーリーなので、子どもたちの反応が良い。子ネズミが母ネズミに『ぶんぶんのブン』とすねる場面では、子どもたちも一緒にふくれっ面になります」。

出典：2016年4月 朝日デジタル新聞より